

G3 のツイッター その 30

烈剛河内 竹井 保満

朝夕が少しずつ涼しくなって、芸術の秋、スポーツの秋です。

今年で 34 年も続いた藤井寺市美術協会展に風刺画を描いていますが、今年は何を描こうかと迷いました。あまりにも今年は事件や出来事が多いので迷いましたが、8 月 8 日、今上天皇がご高齢で、公務に支障があるとの理由で譲位のお話しをされました。現行の皇室典範は、昭和 22 年に施行されたもので、ご譲位の決まりはありません。皇族も政府も国民も考えなくてはならない問題ですので、これを画題にしました。皇族方のお顔を描くのは、憚られますので皇居の二重橋を 30 号に描くことにしました。

天皇は、時の権力者によって現人神にされ、終戦まで神様でした。

天皇を利用されたのは、古くは、安徳天皇で一歳と四ヶ月で平清盛に利用、踐祚され、源平合戦の壇ノ浦の戦いで、平家と伴に幼い命を落とされました。このときは後鳥羽天皇も即位されており二人天皇がおられました。近年では薩長連合軍が錦の御旗を押し立てて、恭順している会津藩を攻め、女、子供まで殺戮したのは記憶に新しいことです。皇室典範には男系の男子が天皇を継承するとありますが、過去には女帝が推古天皇をはじめ十人もおられ、その中には独身の方も数人にいらっしゃいました。

「故事記」もいい加減な話で、良い天皇も悪い方もおられ、天皇家が血で血を洗う、壬申の乱などもありました。そもそも「古事記」は、天武天皇が命じて稗田阿礼が誦習（アンシュウと読み古い記録に節をつけて歌う）ものを太安万侶が書き編纂したものでその中には、神武天皇が百十七歳まで存命で、大和朝廷を作った初代の天皇とありますが、崇神天皇が初代で、税制を作り国家の財政制度を確立し、大和政権を確立したとされるのが昨今の定説です。大和政権を確立したとされるのが昨今の定説です。色々と見てみますと良い神様ばかりが、なされた歴史ではありません。

私見ですが、天皇家は国民同様にもっと自由にあられるべきではないでしょうか。

私も夏バテで 5 6 キロまで落ちました。それでも頑張って大阪府から 9 月 2 4 日にスポーツ賞をいただくことになりました。米寿のお祝いも沢山いただきました。ありがたいことです。現役の時よりも多忙な毎日ですが、体重も少しずつ戻って来ています。力よりも技術を磨いて成績が上がる競技が沢山あります。もう少しスポーツとかかわりたいと思います。まだ百歳まで十二年もあります。体のあらゆる器官の細胞が死んで行くのに細胞の再生が追いつかず、だんだんと少なくなって、体の器官が維持できず、一日か二日で、ストーンと死ぬのを健康死というそうです。終活もせず、もうひと踏ん張りしてストーンと健康死をと願う今日この頃です。